

# 研修だより

## No.2

### 7月の研修に向けて①

今年の仮説のメインである「個別目標」と「ふりかえり」について、5月時点のイメージを確認します。

単元の1時間目に今後の学習活動を示し、**個別目標【ゴール】**をたてます（一例）。  
 低・中学年や特別支援は、**選択肢を与える**とよさそうです。  
 教師からは、この学習活動を通してどんな力を身に付けることが目標か話すとよい  
 と思います。身に付けさせたい力（指導事項）を伝えるのは大切なことです。  
 子どもたちは、「**～～できるようにになりたい。**」「**～～を確かめたい。**」  
 「**～～について説明できるようにになりたい。**」「**～～な〇〇を作りたい。**」など  
 目標をたて、単元を通してそれを目指し、適宜ふりかえり、到達度を確認できると  
 よいですね。

時	単元計画
1	小単元①
2	
3	
4	小単元②
5	
6	まとめ

※目標立てやふりかえりを必ず全時間行うのは現実的ではないと思います。  
**時間に余裕があるときや、小単元ごとにふりかえり**をするとよいですね。  
 子どもたちは、「**〇〇を作るとき、ヒントとして～～を得た。**」  
 「**大事なことは～～だとわかった。**」「**～～を取り入れて、〇〇を完成させたい。**」  
 など、単元のゴール【個別目標】に対してのふりかえりをするとうよいと思います。  
 ロイロノート、ワークシート、ノート、発表などふりかえりのスタイルもいろいろ  
 と考えられるでしょう。ブロック研修で試してみてください。

単元の最後に、**個別目標【ゴール】**をふりかえります。

子どもたちは、「**～～できるようになった。**」「**～～はできたけれど、～～はまだできないので、できるように  
 になりたい。**」「**～～について、友達にわかりやすく説明できた。**」「**～～を意識して〇〇を作ることができた。**」  
 「**～～を確かめることができた。**」など**成長した自分を実感**できるとよいですね。

### 子どもも教師も慣れが肝心 「学ぶ楽しさ」を実感することを目指して

1学期の授業者や教科を決めていただきありがとうございます。

まずは、ブロックで取り組む教科や領域で、ぜひ、個別目標【ゴール】とふりかえりを意識した授業に取り組  
 んでみてください。

言葉掛けは前向きに。「**～～できるようになったんだね。**」「**よいことに気付いたね。**」「**それを取り入れてみる  
 のは素敵だね。**」「**よい着眼点だね。**」「**～に使いそう！**」など、先生方も、学ぶ意義が子どもたちに伝わる言葉を使  
 使って、指導をされることが望ましいです。成長が目に見える形。いろいろと試して探っていきましょう。